

いいたん

飯南



いinanちよう

飯南町広報

平成20年5月20日 No.41

5月号

「琴引フォレストパークスキー場」存続へ方針を決定

まちの話題・町のうごき・お知らせなど

国盗り綱引きで交流(赤名峠)



廃止か存続か

検証結果等をふまえ、廃止した場合と存続した場合を考えると、次のような予想が立てられます。

継続 した場合

- 利点**
- ・雇用の場や地域経済への貢献(年間7~8,000万円)
 - ・地域スポーツへの振興(小中高校の特色づくり)
 - ・交流事業の拠点としての活用(都市農村交流など)
 - ・国道54号通過客の確保(中国横断道松江尾道線開通への対応)
- 欠点**
- ・今後10年間で設備メンテナンスに1.4億円が必要(圧縮は可能)

廃止 した場合

- 利点**
- ・設備メンテナンスなど運営費用が不要
- 欠点**
- ・国から借り入れた過疎債約2.36億円の一括返済を迫られる(国から交付された約1.7億円も返済が必要)

共通する問題点 町が琴引FPに貸し付けた4.16億円の債務は回収不可能であり、町が負担せざるを得ない。



新聞記者の質問に答える山崎町長

再生計画の検証
町は最初に、再生計画の検証に取り組みました。【表1】は平成16年度から19年度までの収支計画と実績の状況を表しています。

この表から見ると、年度ごとの計画に対して実績が下回っており、この4年間は再生計画に沿った運営ができない状況となっています。再生計画では、町からの貸付金を営業利益から返済する計画でしたが、現状では全額の回収は不可能です。

このような事態となった原因として、売り上げ計画に見合う具体的な戦略がなかったこと、異常気象によって入り込み客が減少したことが大きいと考えられます。

【表1】年度別収支計画と実績

(単位:百万円)

年度	16		17		18		19	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
売上高	340	257	346	269	346	251	346	269
スキー	122	103	122	100	122	85	122	110
山荘	83	84	83	87	83	81	83	78
やまなみ	135	70	141	82	141	85	141	81
営業利益	26	11	24	-2	25	-16	26	10

※平成16年度は、旧頼原町がスキー場運営に対して行ったスポーツ振興助成950万円を含む。

基本合意書と覚書
旧頼原町と株主(琴引フォレストパーク(以下琴引FP)、三井住友建設株)の3者は、平成16年3月に基本合意書と覚書を交わしています。

この内容と経過は、次のとおりです。
基本合意書
大きく3点に分けて考えられます。

皆さんに愛される スキー場を目指して

「琴引フォレストパークスキー場」存続へ方針を決定

琴引フォレストパークスキー場の問題は、飯南町が誕生する前から、合併協議会や住民説明会の中で、常に議論の中心となってきました。このことから、町は同施設のあり方について慎重に検討を重ねた結果、このたび正式に存続させることを決定しました。今回は、存続を決定するに至った経緯と今後の方針を紹介します。

- 【今後の運営資金と対策】
- ① 運営費(指定管理料)は、気象に応じて年間2000万円を上限とする。
 - ② 継続期間中の総額は、過疎債
 - ③ 町民の皆さんと一緒にスキー場を盛り上げ、皆さんに愛される施設を目指し、飯南町全体の振興に資する運営を基本とする。
 - ④ 継続期間は、スキー場施設の耐用年数である10年を目安とし、数年ごとに経営状況から見極める。

導き出した結論は「存続」

これまで説明してきたことから町は、地域振興上の効果や財政運営を勘案すると、継続することが望ましいと判断しました。

スキー場を継続するにあたって、次の4点を運営継続の方針とし、今後の運営資金と対策についても検討しました。

【運営継続の方針】

- ① 琴引FPに残った債務4.16億円は、町が負担する。
- ② 琴引FPによる運営は限界と考えられるため、新たに指定管理者を公募する。
- ③ 町民の皆さんと一緒にスキー場を盛り上げ、皆さんに愛される施設を目指し、飯南町全体の振興に資する運営を基本とする。
- ④ 継続期間は、スキー場施設の耐用年数である10年を目安とし、数年ごとに経営状況から見極める。

琴引FPが三井住友建設株に対して、平成16年度から2年間で1.9億円を返済するという内容でした。この返済は、すでに完了しています。

契約内容が、琴引FPと三井住友建設株の2者に間接的に回収することは困難であると判断しました。

琴引FPが所有する資産建物、リフト等を町が購入し、平成16年度に旧頼原町が1.4億円で購入(購入資金は過疎債として国から借入)旧頼原町が琴引FPの事業再生に向けた資金を貸し付け(貸付総額は6.15億円)琴引FPは営業利益から町へ返済(貸付金の残額は4.16億円)三井住友建設株の有する琴引FPに対しての債権残高約26億円を劣後(凍結)とする平成19年9月に債権を町へ無償譲渡

この結果、と については町の所有となりました。琴引FPが持つ債務は、町に対する残額4.16億円のみに残っています。

町は、この債務を琴引FPから回収することは困難であると判断しました。

【指摘があった疑問点】

- ① 再生計画では、三井住友建設株に対する返済額が、1.35億円と説明されていたが、覚書によって余分に支払われたのでは?
- ② 覚書があったために、琴引FPが町へ返済できなくなったのでは?

直接的に因果関係があるとは言いきれませんが、結果的には約6000万円の影響があったと考えられます。主な原因は、再生計画が破綻し、計画どおりの利益が上げられなかったことにあると考えています。

愛されるスキー場に生まれ変わるために

琴引フォレストパークスキー場の存続を決定するにあたり、5月1日に住民説明会を開催し、ケーブルテレビの放送を行うなど、町民の皆さんに理解を求めてきました。

今後は、財政的な規律を保ちながら、地域振興や経済への波及効果が実感できる事業に努めます。

そして、町民の皆さんをはじめ多くの方々に愛されるスキー場となるよう、健全な運営を目指していきます。

債権上償還の見合い額を目安とする。

- ③ 継続期間中のスキー場修繕は、1.4億円を限度とする。
- ④ スポーツ振興助成については、別途検討する。
- ⑤ 赤名スキー場は、当面の間休止する。



5月1日に行った住民説明会(来島基幹集落センター)

町の花「ぼたん」が満開 ぼたんまつり in 飯南

5/10(土) 5/18(日)



地元のヒーロー「イソガシジャー」

赤名観光ぼたん園では、毎年5月になると色とりどりのぼたんが誇らしげに花びらを広げ、訪れる方を楽しませてくれます。5月10日から18日にかけて開催した「ぼたんまつり」の期間中は、180品種3万本のぼたんが次々と花を咲かせ、連日多くの観光客で賑わいました。

メインイベントの11日には、赤名ふれあい公園を中心に様々な催しが行われました。県内外から訪れた方は、地元グループが演じる催しやテント市での食事を楽しみながら、周囲に咲き誇るぼたんを觀賞していました。



園内を練り歩く「はやしこ」



地元の特産品などが並ぶテント市



色とりどりの花を咲かせるぼたん園



人々が訪れる森の癒しを提供

森林セラピー基地 グランドオープン 4/20(日)



第1号の来場者に記念品プレゼント

山陰地方初の「森林セラピー基地」に認定された県民の森が、セラピー基地としてグランドオープンしました。この日は、オープンを記念して道の駅赤来高原前でセレモニーを行い、本格的セラピーの実施に向けての第一歩を祝いました。セラピー体験には多彩なメニューがあり、専門のガイドが同行する森林散策、ストレッチェック、食事などに加え、オプションとして保健師による問診、木工やそば打ちなどの手作り体験、温泉施設を使った入浴などがあります。日帰りプランや町内の宿泊施設に滞在する宿泊プランも用意しており、オープンにあわせて多くの方に利用されるメニューが準備できました。

自然豊かな森林で楽しむ 県民の森で山菜教室 5/3(土)

県民の森で行われている山菜教室は、平成6年から毎年開催されています。15年目を迎えた今年は、株フロンティア赤来の主催で行われ、広島県を中心に県外から22人の参加がありました。



お目当ての山野草を発見して歓声をあげるなど、それぞれの楽しみ方で森の散策を満喫していました。

地域住民の憩いの場を目指して

清流会が頼原川を清掃 5/9(日)



菖蒲の周辺を清掃する清流会の会員

頼原川の清掃活動に取り組んでいる清流会が、今年も清掃活動を行いました。頼原川区の住民約40人が会員として活動する同会は、私たちの川を地域住民の憩いの場にしたいという思いで、20年以上も前から清掃活動に取り組んでいます。毎年きれいになった頼原川には、清流会の会員が約10年前に植えた黄菖蒲が咲き誇り、道行く人々の心を和ませています。



舞踊サークルの日舞



健康体操で「イチ、ニ」

志々公民館まつり開催 4/27(日)

まつり広く、まつり深く、まつり楽しく

志々公民館では、人と人の出会い、地域と地域のふれあいを大切にして、様々な活動に取り組んでいます。その活動の集大成とも言えるのが、志々公民館まつりです。12回目となる今回は、さつき会館に約150人が集まり、盛大に開

催されました。今回は、集う、学ぶ、結ぶをキーワードに、保育所園児から高齢者まで、様々な世代の団体が出演しました。それぞれの団体の演目からは、各団体が日頃から練習を積み重ねた努力が感じられました。会場からは心温まる拍手や笑顔が溢れ、地域の温かい交流が広がっていました。

親睦会で交流を深める広島赤来会の会員



ふるさとの温かさを実感 広島赤来会総会 5/11(日)

ぼたんまつりの開催にあわせて、今年も広島赤来会総会が開かれ、会場の、憩いの郷衣掛には、会員をはじめ約70人の出席がありました。総会終了後の懇親会には、地元住民の皆さんも参加し、広島赤来会の皆さんと交流を深めました。懇親会には、町内で採れた山野草などをふんだんに使った料理が振る舞われました。広島赤来会の皆さんは、ふるさとの味を懐かしみながら古くからの友人や知人との再会を喜んでいました。



おめでとうございます



大嶋典さんが瑞宝双光章を受章

春の叙勲は、地方自治、教育、福祉、消防などの分野で功績のあった方が受章されています。飯南町では今回、大嶋典さん

大嶋さんは、昭和40年から昭和52年までの3期12年を、旧赤来町議会議員として在職されました。昭和52年から行政相談委員の委嘱を受け、現在も活躍されています。行政相談委員としての31年間、住民の皆さんから様々な相談を受け、住民と行政とのパイプ役として、精力的な活動を続けられています。

赤来中が読書活動で全国表彰



図書館で読書を楽しむ生徒

文部科学省では、国民の間に広く子どもの読書活動についての理解と関心を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高める活動について優れた実践を行っている学校を、読書活動優秀実践校として表彰しています。この表彰に、全国の中学校から24校が選ばれており、そのうちの1校として、赤来中学校が受賞しました。同校では、図書館の充実をはじめとする読書への取り組みに力を入れており、全校あげての積極的な活動が評価されました。

散在性ごみ収集活動を実施

「わが町は美しく事業」の一環として、4月13日に「散在性ごみ収集活動を実施しました。平成18年度から町全域で実施しているこの収集活動は、自治区等の呼びかけで毎回多くの方の参加があります。今年も、火バサミやビニール袋を手に、早朝から各地域でごみを拾う姿がありました。今回の収集結果は、次のとおりです。皆さんの協力で、徐々にごみの総量が減少しており、活動の成果が現れています。

空き缶等散在性ごみ収集活動実施結果 (単位:kg)

地区別	H20.4.14 搬入	前年比	種別	重量	前年比
赤名	630	-320	可燃ごみ	1,840	480
来島	610	-300	カン	720	-380
頓原	790	-550	ビン	200	-120
志々	950	-770	その他の不燃ごみ	220	-1,920
	2,980	-1,940	計	2,980	-1,940



「森林セラピーのまち」PR看板を設置



花栗地区に設置した看板

中国横断自動車道松江江尾道線の開通が迫る中、国道54号を利用して島根県を訪れる方に対して、飯南町をPRしておく必要があります。

このことから町は、森林セラピー基地としての飯南町を強く印象付けるため、森林セラピーのまち「PR看板」を設置しました。設置看板は2基で、晴雲トンネルと赤名トンネルの付近で見ることができま

飯南町の北と南の玄関口に看板を設置したことで、「森林セラピーのまち」飯南町が定着することが期待されます。



いたみ緑化フェア 姉妹都市交流



飯南町の姉妹都市である伊丹市の「いたみ緑化フェア」は、阪神・淡路大震災の復興を目的に、平成9年から開催されており、飯南町も特産品の販売に参加しています。今年は5月10日・11日に開催され、町内から6団体(25人)が参加しました。

伊丹市の皆さんには、様々な姉妹都市交流事業を行ってきたことで、飯南町への理解が深まっています。この日も、町内から持ち込んだ特産品を通して、新たな交流が芽生えていました。

町は、今年度の重点施策として、飯南ブランドの確立と交流人口の拡大に取り組んでいます。その一環として、今後も姉妹都市交流を継続し、伊丹市との交流を深めていきたいと考えています。

のらぼう菜を初収穫



町は新たな特産品の一つとして、のらぼう菜の栽培に取り組んでいます。のらぼう菜は、主に関東地域で自家消費用として栽培されている品種です。寒さに強いいため、江戸時代から冬季の貴重な青物野菜として重宝されており、栽培方法が簡単なのも特徴の一つです。

昨年からは町内20戸の農家で栽培をお願いし、4月に収穫

の最盛期を迎えました。今回は、飯南町出荷協議会を通して、道の駅赤来高原とぶなの里で販売しました。今後は、栽培農家の拡大と広島県を中心とした販路の確立を目指し、新たな「飯南ブランド」の一つとして取り組みを進めます。

ヤマトイモ販路拡大



され

ます。

同生産組合では、一緒にヤマトイモの生産に取り組んでいただける方を、随時募集しています。興味のある方は、政策推進課までお問い合わせください。

政策推進課プロジェクト担当

76・2214

町教育委員会が瀬戸山城址を調査



赤名連坦地周辺は、戦国時代の尼子毛利の戦場として知られ、衣掛山にはその当時の歴史遺産ともいえる瀬戸山城址があります。

町教育委員会は、この遺産を後世に伝えていくため、飯南町の文化財として指定し、守っていきたくと考えています。このため、城址の現況等を具体的に把握しようと、調査を始めました。

現在は、調査のための雑木の伐採を行っています。調査終了後は、城址の保護や指定文化財認定に向けて、準備を進めていく予定です。



第1回
 飯南伝統文化
 「しめ縄作り」
 を人々に伝えたい
 菅 恒義さん(花栗)



出雲大社へ奉納するしめ縄の運搬作業 (4月9日)



今月号から、新シリーズ「飯南の輝き」として、町内で生き生きと輝き活動する人やグループを紹介します。今月は、「しめ縄作りの達人」菅恒義さんです。

菅さんは、父から教わったしめ縄作りを生かし、「わらの温もりを多くの人に伝えたい」という思いから、昭和25年頃、10人程度の有志と神社へ奉納するしめ縄作り始められました。

平成2年に旧頼原町老人クラブが発足すると、同会でしめ縄作りに取り組みことになり、現在は飯南町老人クラブ連合会頼原支部から工芸部会として、活動を続けられています。

同部会には、地域の高齢者約50人が在籍し、頼原高齡者創作館で元気に活動されています。同部会では、主に神社に奉納するしめ縄と、一般家庭で見られる正月用のしめ縄を作られています。

視野や作り方を習得するために、毎年県外から多くの方が訪れています。菅さんは、自分の身につけた業を惜しげもなく人々に伝え、時には県外へ出向いて作り方を教えられています。

「地域の宮は地域で守るのが一番、奉納するしめ縄も、地域の材料で地域の人が作ってもらいたいです」と話す菅さんは、元気である限り、今後も活動を続けたいと話していました。

同部会には、しめ縄作りの視察や作り方を習得するために、毎年県外から多くの方が訪れています。菅さんは、自分の身につけた業を惜しげもなく人々に伝え、時には県外へ出向いて作り方を教えられています。

各種手当を詳しく紹介します

飯南町福祉事務所

特別児童扶養手当

障害児の父母等がその障害児20歳未満を養育するときに支給される手当です。

- ☆手当額(月額)
 - ▽1級.....50750円
 - ▽2級.....33800円

対象児童の施設入所、障害年金を受給している場合は、支給資格がありません。

特別障害者手当 障害児福祉手当

日常生活において常時介護を要する程度の障害(精神または身体)がある方に支給される手当です。(20歳未満は障害児福祉手当)

- ☆手当額
 - ▽特別障害者手当.....26440円
 - ▽障害児福祉手当.....14380円

施設入所、3カ月を超える入院(20歳未満は除く)、障害年金を受給している20歳以上は除く場合等は、支給資格がありません。

児童扶養手当

父母の離婚などにより父親と生計をともしない児童の母等、児童(18歳未満)を養育している方に対し、児童の健全な成長を願って支給される手当です。

- ☆手当額(月額)
 - ▽全部支給41720円(月額)
 - ▽一部支給9850円

第2子には月額5000円、第3子以降には1人につき月額3000円ずつ加算となります。

対象児童が施設入所している場合や、母または養育者が公的年金を受けられる場合等は、支給資格がありません。

今回紹介した手当制度は、その他にも対象要件や所得制限等がありますので、申請される前に一度ご相談ください。

お問い合わせ・申込み先 飯南町福祉事務所 TEL72-1773 来島保健センター TEL76-3800

こんにちは中山間地域研究センターです

学生ボランティアによる地域の空き家調査(弥栄地区)



中山間地域において、集落単位を超えた新たな地域運営のあり方について、昨年度、県内の2つの地区で大規模な取り組みを行いました。

取り組みの概要

中山間地域の多くの集落では、現在、急速に小規模・高齢化が進行し、集落機能や集落自体の存続が危ぶまれています。今回の取り組みでは、集落を超えたより広い地域(例えば昔の小学校区程度の地域)を新たな生活圏(郷)と仮定し、この「郷」に対して、NPOや外部からの地域マネージャー、学生ボランティア等が新しい地域の「結び目」、調節機能となつて、集落の方と一緒に、地域資源の掘り起こしや地域の活性化、地域外との交流事業を行いました。

浜田市弥栄地区(旧弥栄村)での取り組み

弥栄地区は、90年代からITターンの多い村として知られており、積極的に地域外からの人材を呼び込んだ地域づくりを展開しています。このような特性を活かして、中山間地域研究センターの客員研究員と受託コンサルタント職員2人を、新たな調節機能を担う地域マネージャーとして配置し、市内の島根県立大学の学生、教職員との連携を特徴とした取り組みを行いました。

中山間地域に新たな「郷」の時代を創る

羽須美地区には、広島・島根の県境地域を中心とした中山間地域における人材育成と地域づくりを目的として設立された、NPO法人ひろしまねが本拠地を置いています。本事業においては、同法人が中核となり、集落単位の取り組みを補完する、新たな調節機能「集落支援センター」を構築するアプローチにより取り組みを行いました。



猿害防止柵を地域住民と一緒に設置(羽須美地区)

パネル展示について

6月上旬まで、センター玄関ホール左手の展示スペースで、今回の取り組みの詳細をパネル展示しています。是非ご覧ください。

俳句短歌

赤名短歌会

- *桜祭りいゆく幼女の綿菓子の手すくれないや花の散りくる
- *この世では所詮他人と言いつ友墓地と寺院の場所を告げくる
- *年を追うごとに小さくなる夢よ歩幅大きく歩きたきもの
- *吹き返す風に散りくる梅の花恋苗植うる畑にまぜつつ
- *鳥が啼き花さきそろう春なれやとどまることなし聖火への嵐
- *春休み洗濯物とペランダに干しつ列車の通過見送り
- *蔓ばらの垣根は消えていつしかにコンビニひとつ増えし街角
- *人生にまさかという坂あるという我も真逆に遭遇したり
- *満開の桜の土手と山の桜咲足らぬ如く白鷺のむれ
- *授賞という栄誉は妻にありと言ふ先輩の言葉麗しくあり
- *傷兵は死なず還りて花々の戦艦日向の戦いを語る
- *娘等三人健康に居てそれのみが我とさせえ今日の日を過ぐ
- *突然に主の逝かれしことどもを知らず桜ばらんまんと咲く
- *香を焚き灯明立し鉦を打つわれらと結びし兄を悼みぬ

四月例会詠草

- 岩佐 恒子
- 安部 教子
- 日高美代子
- 石田フクエ
- 三島 久恵
- 本間 麗子
- 澤田久美子
- 難波 幾子
- 澤田 勝登
- 貝森フミエ
- 源 光子
- 佐々木りく子
- 門所 詠子
- 中村三四二

琴峯俳句会

- *石垣を残す城跡や山桜
- *一叢の紫光る萱かな
- *美容院に居付きし子猫まつぱりて
- *白蓮の蕾力を漲らせ
- *白椿昨夜の雨に濡れけり
- *奥山の山菜畑や風光る
- *花満開若き葬りに惚ぶ声
- *手を休め草に座れば風光る
- *声のみの忍び姿の猫の子や
- *納屋の戸を開けて迎へむ初燕
- *さらさらと水辺の柳風光る
- *後戻り出来ぬ人生鳥巣立つ

会員作品抄

- 石田シヅカ
- 奥野 王貴
- 垣内 良野
- 片山 素文
- 庄司あさの
- 林 勝子
- 原 コウ
- 張戸ユキ女
- 政本 進美
- 源 雨光
- 森 征子
- 垣内 峯雅

平成20年度行政相談日程

皆さんは、毎日の暮らしの中で、例えば道路、河川、農地、登記、福祉などの役所の仕事について、困っていることがある「納得がいけない」「制度や手続きを知りたい」「相談部署が分からない」といったことがないでしょうか。

行政相談制度は、国の役所の仕事等について、苦情や要望を受け付け、公正・中立な立場から必要なあつせんを行い、

その解決を促進するとともに、皆さんの声を行政運営の改善に役立てるものです。

飯南町では、行政相談委員の大嶋典さん、安部徳則さんが次のとおり相談所を開設します。相談は無料で、秘密は固く守られます。どんな小さなことでも、お気軽にご相談下さい。

■お問い合わせ
 飯南町役場保健福祉課
 0854・72・1770

行政相談開催日

※開設時間：各会場9時～12時

月日	開催場所	所在地
6月10日(火)	憩いの郷「衣掛」	赤名
7月10日(木)	保健福祉センター	頓原
8月8日(金)	来島基幹集落センター	野萱
9月10日(水)	さつき会館	八神
10月10日(金)	憩いの郷「衣掛」	赤名
11月10日(月)	保健福祉センター	頓原
12月10日(水)	来島基幹集落センター	野萱
1月9日(金)	さつき会館	八神
2月10日(火)	憩いの郷「衣掛」	赤名
3月10日(火)	保健福祉センター	頓原



お知らせ

INFORMATION

里親制度へのご理解とご協力をお願いします

子どもが明るく健やかに成長していくためには、あたたかい家庭が大切です。しかし、親の事故や病気などのために、自分の家庭で暮らすことができない子どもたちもいます。このような子どもたちの養育を、児童福祉法に基づいて、里親となることを希望する方にお願ひするのが「里親制度」です。

多くの皆さんに、この制度の意義をご理解いただき、里親としてご協力いただくことをお願ひします。

里親Q&A

Q どうすれば里親になれるの？
A まず、児童相談所に「相談ください。職員がご家庭に伺い、受け入れ態勢等に問題なければ、里親として登録されます。児童相談所から養育のお願ひがあれば、里親としての養育が始まります。

Q 里親になるために「資格」は必要？
A 特別な資格は必要ありません。

Q 里親として養育する期間は？
A 養育をお願いする期間は、数日間から数年間まで様々です。例えば、週末だけ里親として子どもを預かることもできます。

Q 養育費は支給されるの？
A 里親手当、生活費、学校教育費、子どもの医療費などが公費



■お問い合わせ
 出雲児童相談所
 0853・21・0007

飯南町役場保健福祉課
 0854・72・1770

一般保険者の方にも「ねんきん特別便」を送付します

約5000万件の未統合記録と、基礎年金番号で管理されている記録との名寄せ等を行い、記録同士が結びつくことと推定される方には、加入期間や加入履歴を記載した「ねんきん特別便」を送付しています。

今年度は送付対象者を拡大し、5月までには年金受給者へ、6月から10月にかけては全ての現役加入者へ送付します。
 「ねんきん特別便」到着の際は、必ず年金履歴をご確認いただき、同封の封筒でご回答をお願いします。

■お問い合わせ
 ねんきん特別便専用ダイヤル
 0570・058・5555
 IP電話、PHSからは
 03・6700・1144

■受付時間
 9時～20時(月～金曜日)

■その他
 社会保険事務所でも、6月末までの平日は19時まで窓口相談を行います。休日明けは大変混み合いますので、比較的空いている17時以降のご利用をお勧めします。

わが町は美しく フォトコンテスト 入賞作品巡回展示

平成18年度から実施している「わが町は美しくフォトコンテスト」の入賞作品を、次の日程で巡回展示します。飯南町の美しさが伝わる作品の数々を、この機会にぜひご覧ください。



■巡回展示の日程
 ・～5月30日
 ・6月2日～27日
 ・7月1日～30日
 ・8月1日～29日

道の駅「赤来高原」
 うぐいす茶屋
 加田の湯
 道の駅「頓原」

■日程
 ・6月16日(月)
 出雲合同庁舎
 ・6月25日(水)
 大田市勤労青少年ホーム
 ・7月7日(月)
 松江合同庁舎
 講習時間は、各会場とも9時～16時
 ■お問い合わせ
 (社)島根県猟友会
 0852・22・4129

狩猟免許講習会開催

放送大学 10月生募集のお知らせ

放送大学では、平成20年度第2学期(10月入学)の学生を募集しています。放送大学は、テレビなどの放送を利用して授業を行う通信制の大学です。心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。資料を無料で差し上げています。お気軽に放送大学島根学習センターへご請求ください。
 ■出願期間 8月31日まで
 ■お問い合わせ
 放送大学島根学習センター
 0852・28・5500

障害者福祉に関する身近な相談窓口

お気軽にご相談ください

身体障害者・知的障害者相談員
 身体障害者・知的障害者相談員は、身体に障害のある方や知的障害のある方からの相談に応じ、必要な指導、助言をしています。

飯南町には、次の2人が相談員として県から委嘱を受けており、福祉事務所など関係機関との連絡にあたっています。

■相談窓口
 身体障害者相談員
 信高正美さん(佐見)
 72・0779

知的障害者相談員
 松下清之さん(畑田)
 76・3574

精神保健相談
 〓こころの相談窓口〓
 うつやひきこもりなど、心の悩みを抱えている方々の様々な相談に応じます。訪問による相談も行っています。

■相談窓口
 飯南町役場保健福祉課(保健師)
 0854・72・1770
 雲南保健所健康増進グループ(保健師)
 0854・42・9642

「忘れていませんか？」オウム逃亡被疑者を!

平田 信(43歳)
 ・183センチくらい
 ・髪が濃い
 ・あごがとがった感じ

菊地 直子(36歳)
 ・159センチくらい
 ・右こめかみに小豆大のほくろ

高橋 克也(49歳)
 ・173センチくらい
 ・中肉
 ・眼鏡を使用する
 ・鼻に眼鏡痕

この顔にピンときたら110番!

あこやか会 4月届出分

新生児 届出人 地区

原田 彩花(あやか) 明紀(獅子)
 中村 桜萌(あやか) 裕之(下赤名)
 田村 心望(あやか) 剛(上来島)
 澤田 民生(あやか) 洋司(頓原)

お名前 親族 地区

後長 待子(99) 淳子(角井)
 藤原 畔様(74) 秀幸(下赤名)
 岸野クワヨ様(78) 昌士(上赤名)
 松尾 澤江様(86) 一夫(下赤名)
 柳原 今子様(97) 政雄(野萱)
 藤原 房義様(86) 義正(八神川西)
 星野 一弘様(78) 誠(上来島)



今月の表紙

石見銀山遺跡が世界遺産に登録されたこと、町内では銀山から延びる銀山街道をテーマに、様々な取り組みが行われています。4月20日に赤名峠で開かれた「国盗り綱引き大会」は、布野町まちづくり連合会と飯南町の銀山街道を訪ねる会などが話し合い、両地域の交流イベントとして実現しました。綱引きは小学生や女性消防団など5回戦を行い、勝ったチームが50センチの領土(景)をもらえるユニークなルールでしたが、2勝2敗1分けの引き分けに終わりました。

まちのスケジュール

2008 平成20年 6月

日	月	火	水	木	金	土
1 * バレーボール大会 (志々体協:八神トレセン)	2 * スマイルりんご (来島保健センター)	3 * 子宮がん検診	4 □ 中学校雲南・飯南 総体 ~5日 * 町健康診査 (保健福祉センター) ※対象: 上区・都加賀 * 軽体操 (保健福祉センター)	5 * 町健康診査 (保健福祉センター) ※対象: 花栗・寺沢	6 * 町健康診査 (保健福祉センター) ※対象: 長谷・佐見	7 * 来島公民館子ども 活動 (来島基幹集落センター) * グラウンドゴルフ 大会 (谷公:赤名山村広場)
8 * ポピー祭 (東三瓶フラワーバレー) * とんぱら探険隊 (頓公:生涯学習センター)	9 * 町健康診査 (保健福祉センター) ※対象: 敷波	10 * 町健康診査 (保健福祉センター) ※対象: 奥畑・町区 * 行政相談 (憩いの郷衣掛) * 青少年健全育成会 議総会 (赤名改善センター)	11 □ 頓原小フリー公開日 ~12日 □ 来島小少年自然の 家研修 ~13日 * 町健康診査 (保健福祉センター) ※対象: 町区	12 □ 志々小授業公開日 □ 来島保育所保育 公開日 * 乳児・1歳6ヶ月児 健診(保健福祉センター)	13 □ 頓原小授業公開日 □ 赤名保育所保育 公開日	14 * 泥落し神楽共演大会 (谷体育館) * いちりナイト ウォークラリー (志公:八神連坦地周辺) * むらさき探険隊 (赤名峠)
15	16 * スマイルりんご (来島保健センター)	17 □ さつき保育所保育 公開日 * どんぐりデイズ ~21日 (頓公:生涯学習センター)	18 □ 中学校雲南・飯南 陸上大会(雲南市: 大東ふれあい運動場) □ 来島小授業公開日 * 軽体操 (来島基幹集落センター)	19 □ 赤名小授業公開日 ・地区懇談会 ・PTA親子研修会 * 子宮がん検診 (赤来地域各施設)	20 * 自治区長連絡会議 (赤名改善センター)	21 * お料理しませんか (来島保健センター) * ゲートボール大会 (志々体協:志都の里)
22 * 頓原地区ソフトボール・ ソフトバレーボール大会 (頓原町民野球場・頓原中体育館)	23	24	25 □ 頓原小自然の家 研修 ~27日(江津市) * グラウンドゴルフ 教室(志公:八神山村広場)	26	27 □ 桜ヶ台保育所保育 公開日	28
29 □ 来島小PTAソフト バレー大会 * 奥飯石神楽共演大会 (みせん)	30 □ 赤名小自然の家 研修 ~2日(江津市)	7/1	7/2	7/3	7/4	7/5 * 半夏まつり ~6日 (赤名連坦地)

□ 教育 * 健康・保健 * 文化・体育 * その他



決められた日時をお守りください

し尿汲取り日		頓原地域 ▲72-1401	赤来地域 ▲76-2441
汲取り地区	汲取り日		
頓原	7日 9日 27日 29日		
志々	12日 14日		
赤名	2日 4日 22日 24日		
来島	17日 19日		

※汲取り日が日曜日の場合は前後の日となります。

資源物		金属類・粗大物		ガラス類	
収集地域	収集日	収集地区	収集日	収集日	収集日
頓原	18日(水)	頓原連坦地	23日(月)	9日(月)	
		八神連坦地	25日(水)	11日(水)	
		志々・頓原の連坦地以外	24日(火)	10日(火)	
赤来	25日(水)	赤名連坦地	16日(月)	2日(月)	
		来島連坦地	18日(水)	4日(水)	
		赤名・来島の連坦地以外	17日(火)	3日(火)	